



- 1 目次／編集方針
- 2 東京メトログループ 経営ビジョン
- 3 **【特集】**
東京メトロが社会に提供する価値
- 5 トップコミットメント
- 7 数字で見る東京メトロ
- 8 **【中期経営計画】** 東京メトロプラン2018
- 11 **【特集】**
日比谷線新型車両13000系
- 13 東京メトロのコーポレート・ガバナンス

15 **安心=安全+サービス**

- 16 たゆみなき「安全」の追求
- 17 日常の安全と危機管理
- 19 お客様視点に立った「サービス」の提供

25 **社会**

- 26 東京・地域とともに
- 29 社員とともに
- 32 取引先とともに
- 34 投資家とともに

35 **環境**

- 36 環境マネジメントシステム
- 37 長期環境戦略「みんなでECO.」
- 38 環境目標と実績
- 39 事業活動における環境負荷
- 40 東京メトロ自らのエコ化
- 45 東京メトロを使ってエコ
- 46 沿線地域とエコ
- 47 環境コンプライアンスと環境教育
- 48 第三者意見／第三者意見を受けて
- 49 東京地下鉄株式会社 会社概要

編集方針

「東京メトロ 社会環境報告書」は、東京メトロを支えてくださっているステークホルダーであるお客様、投資家、地域社会などの皆様に、東京メトロの社会環境活動の取組や考え方を広く発信することを目的にしています。

東京メトロの経営ビジョン・中期経営計画などの経営情報やコーポレート・ガバナンスをはじめ、鉄道事業者としての最大の使命である安全・安定運行への取組やステークホルダーとのつながり、事業活動を通じた地球環境保全への取組について、幅広くご紹介しています。

また、特集では、東京メトロが社会に提供してきた価値を、日本初・世界初の取組事例やこれまでのあゆみとともにご紹介するとともに、2017年3月に運転を開始した日比谷線の新型車両13000系についてご紹介しています。

本報告書には、アンケート用紙を添付しています。皆様とのコミュニケーションを通じ、より良い活動につなげていきたいと思っておりますので、ご意見・ご感想をお寄せくださいますようお願いいたします。

参照したガイドライン

- ・環境報告ガイドライン(2012年度版、環境省)
- ・サステナビリティ・レポート・ガイドラインG4 (2013年版、GRI)
- ・ISO 26000(国際標準化機構)

ISO 26000への対応

本報告書では、2010年に発行された社会的責任に関する国際ガイダンス規格「ISO 26000」を参考としています。同規格が示す7つの中核主題に合わせて取組を分類し、該当する取組に以下のマークをつけてご紹介しています。



● 対象範囲

原則として東京メトロの単体(ただし、経営ビジョン、経営戦略、中期経営計画及び活動事例の報告において、一部グループ会社の活動を含めています。)

● 対象期間

2016年4月～2017年3月(ただし、継続的な取組や重要な事項については、2017年度及び2015年度以前の情報を含めています。)

● 報告書発行:2017年9月

(前回発行:2016年10月)

● 免責事項

本報告書には、東京メトロの現時点における計画や経営方針・経営戦略に基づいた将来の見通しが含まれています。これらは現時点で入手可能な情報から得られた東京メトロの判断に基づいており、諸条件の変化によって、実際の事業活動が異なる結果になる場合がありますことをご了承ください。